

日時：2023年6月5日(月) 15:00～

場所：ZOOMによるオンライン会議

出席者：青木隆昌, 飯田裕貴子, 牛澤浩一, 奥田篤史, 加藤隆康, 川上貴教, 貴志孝洋, 久保田裕仁, 齊藤宏之, 藤間俊彦, 中原浩彦, 中村修, 中村憲司, 橋本晴男, 東久保一朗, 山野優子
(敬称略, 五十音順)

1. 第97回学会(広島)における部会主催行事の企画について(資料1)

(1) 技術者倫理に関する企画案

- 先日の拡大幹事会での意見を受けて, 下記のような議論があった。
 - 基調講演は橋本先生から堀江先生(産業医大)に依頼⇒了解済み。
 - 作業環境測定における倫理問題: 中村剛先生(東北大)に依頼(←中村修先生)
 - アスベストを中心とした測定機関における倫理問題: 飯田先生
 - 海外での倫理問題(持田先生)⇒指定発言?
 - 幾つか判断に迷う事例を挙げて, 聴衆に考えてもらう⇒登壇者でディスカッションしたらどうか?
 - 個人情報管理について(どこまでが個人情報として保護すべき情報か?)⇒テーマとして大きすぎるため, 今回は扱わず, 別の機会に企画すべきでは?
 - 顧客から無理難題を持ちかけられたときに, 技術者としてどのように対応するのが正解か, という内容が良いのでは?
 - 溶接ヒュームについてはなかなか難しい。出せる情報, 出せない情報がある。
- これらの議論を受けて, 下記の企画案で検討することとした。
 - タイトル:「産業衛生技術職における技術者倫理(仮)」
 - 企画立案者: 橋本, 座長: 橋本(主), 齊藤(副)
 - 演者1(基調講演): 堀江先生(産業医大)
 - 演者2: 作業環境測定における倫理問題(仮): 中村剛先生(東北大)
 - 演者3: アスベストの測定現場における倫理問題(仮): 飯田先生
 - 演者4(指定発言): 海外での情勢について(持田先生)
 - ディスカッション(奥田先生を中心に事例WGを作り, 判断に迷う仮想事例を収集。会場&リモート参加者に考えてもらった上で, 登壇者でディスカッション)

(2) 化学物質の測定関連の企画案

- 先日の拡大幹事会での意見を受けて, 事務局(教育研修担当)より, 下記の演題の提案があった。
 - 様々な測定の選択肢とその概要
 - 事前調査(確認測定要否判断)
 - 確認測定事例
 - 濃度基準値がない物質のリスクアセスメント
 - 改善困難な第三管理区分の保護具選定のための測定
 - 個人ばく露測定ガイドライン(ダイジェスト版)の紹介(中原委員長)
- これに関して, 下記のような議論がなされた。
 - 「改善困難な第三管理区分の保護具選定のための測定」は個人ばく露測定に関係するので, 個人ばく露測定の経験のある東久保先生にお願いできないか ⇒研究倫理上, 外に出せるデータは限られる
 - 確認測定や改善困難な第三管理区分の測定が義務化されるのが来年4月であるため, 来年5月の学会で話せる内容は限定されるのでは。
 - 確認測定や, 保護具選定のための測定ではなくても, 個人ばく露濃度測定について話して頂ければ, 概ねカバーされるのではないかと?
 - 事前調査ならびに, 濃度基準値がない物質のリスクアセスメントはクリエイトシンプルが主体となるため, 貴志先生にお願いしたい。
 - 確認測定は難しいのではないかと?
- これらの議論を受けて, 下記の企画案で検討することとした。
 - タイトル「化学物質の自律的管理の実践—現場でのリスクアセスメントと測定(仮)」
 - 企画立案者: 中村修, 座長: 奥田(主), 森(副)
 - 演者1: 様々な測定の選択肢とその概要(仮): 橋本先生
 - 演者2: 事前調査及び濃度基準値がない物質のリスクアセスメント(仮): 貴志先生
 - 演者3: 改善困難な第三管理区分の保護具選定のための測定(仮): 東久保先生
 - 演者4: 個人ばく露測定ガイドライン(ダイジェスト版)の紹介(仮): 中原先生

2. 第33回全国協議会(甲府)における部会主催行事の確認

- 第33回全国協議会での部会主催行事については, 下記で確定済みとの確認がなされた。

- 産業衛生技術シンポジウム（経皮吸収）
 - ◇ 企画立案者，座長ともに中原先生
 - ◇ 演者：豊岡先生（安衛研），柳場先生（安衛研），青木先生（九工大）
 - 専門研修会（北陸甲信越における現場からの報告）
 - ◇ 企画立案者，座長ともに田村先生，
 - ◇ 演者：久保田大介先生（山梨厚生病院），中山祐希先生（信濃公害研究所），内納大典氏（上越環境科学センター）
 - まだ運営事務局からの連絡は来ていないが，連絡があり次第，企画立案者に連絡し，登録を行う。
- 3. 第34回全国協議会（木更津）における部会主催行事の企画について
 - 専門研修会については，例年，開催地区の地方会が企画を担当していることから，今回は関東地方会にて企画立案を担当する。
 - 地元の衛生管理者，コンサルタント，COH，社労士等からの報告など（演者の当たりを付けておく）
 - 社労士との連携について取り上げたらどうかとの意見が出た。
 - 部会シンポジウムについては，先日の拡大幹事会にて，「生物学的因子」，「高齢化社会を見越した理学療法士を活用したトレーニング」という案が出された。
 - 生物学的因子については，第29回全国協議会（仙台，2019年）で実施したばかり（レジオネラ，MWF，測定法）なので，再度取り上げるには時期尚早。
 - 理学療法士によるトレーニングについては，中災防でやっている人がいるはず。
 - 引き続き企画案の検討を行い，次回企画運営委員会・拡大幹事会で議論したい。
- 3. 教育研修担当の業務について（資料2）
 - 教育研修担当の中村修先生より，教育研修担当の業務についての説明がなされ，下記の指摘があった。指摘箇所を修正の上，幹事会に提示する。
 - 用語の統一（企画推進者⇒企画立案者）
 - 外部への広報活動については広報担当と連携する。
 - 取材依頼があった場合は広報担当が対応する。
 - 独自開催の場合は，企画終了後に企画担当者が報告書類を作成する（教育研修担当から依頼）。
- 4. その他
 - 7/22の研修会の登録状況についての報告があった。現時点で179名からの申し込みあり（うちオンライン：152名）。
 - ZOOMが上限100名のため，Youtubeにライブ中継し，非会員（および，会員のうち申込みが遅かった人）はYoutubeで聴講していただくのはどうか（会員への差別化にも繋がる）。
 - Youtubeについては，申込者限定となるよう，留意が必要。限定公開設定とすることにより，完全ではないが対応可能と考えている（URLを知っている人のみ聴講可。検索には引っかからない）。
 - アーカイブについては，一定期間の見逃し配信は良いかも知れないが，会員限定として部会Webサイトにパスワードを掛けて置いたほうが良いのではないか。
 - 「産業保健21」より取材依頼が来ていることが広報担当より報告された。
 - Youtubeに部会チャンネルを開設済み。今後の活用方法については継続して検討。
 - 個人ばく露の委員会について，津田先生，東久保先生から参加希望があった。メンバーが確定したので，メンバーリストを作成して具体的な作業に入りたい旨，報告があった。

以上（文責：齊藤）